

植民地朝鮮の

日常を問う

―第2回佛教大学・東國大学校共同研究

佛教大学国際学術研究叢書③

韓 哲昊
原田 敬一
金 信在
太田 修

著



『女学生日記』の巻頭の頁

国幣小社大邱神社

日韓両国が「東アジア共同体」構想を持つようになり、いっそう密接な関係を構築することが強く求められるようになった現在も、両国の歴史認識は、さまざまな点で大きなズレを持ったままである。本書は、佛教大学と韓国・東國大学校との三年間にわたる学術交流の成果。近代都市・教育・観光・併合をキーワードに、「植民地時代」の「日常」とは何であったのかを検討した四編を収録。

A5判・二八〇頁

定価二、九四〇円

(税5%込)

ISBN978-4-7842-1660-4

二〇一三年

一月刊行予定

● 内容目次 ●

◆ 日帝の韓国併呑に対する韓国民の認識と対応
韓 哲昊 (東國大学校歴史教育科教授)

◆ 韓国併合前後の都市形成と民衆
― 港町群山の貿易・生産・生活

原田 敬一 (佛教大学歴史学部教授)

◆ 日帝強占期における

「古都・慶州」の形成と古跡観光

金 信在 (東國大学校国史学科教授)

◆ 戦時期大邱の朝鮮人女子学生の学校生活

― 1937年の日記から

太田 修

(同志社大学グローバル・スタディーズ研究科教授)



千人針

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	植民地朝鮮の日常を問う		本体2,800円(税別)	ISBN978-4-7842-1660-4
お名前			tel		
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	☐ 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) ☐ 代引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				
			書店番線印		

韓国「併合」前後の教育政策と日本

本間千景著

佛教大学研究叢書8

第二次日韓協約から第一次朝鮮教育令発布後の修身教科書への影響や教員の養成・日本人教員の配置など、現地における学校教育をとりあつかう。日本の関与に対して朝鮮民衆の様々な対応と抵抗が展開され、その結果日本側の植民地教育政策がどのような変容を迫られたのかを、多彩な史料に基づき明らかにする。

▶A5判・300頁／定価5,880円

ISBN978-4-7842-1510-2

※オンドルと畳の国 近代日本の朝鮮観

三谷憲正著

佛教大学鷹陵文化叢書9

従来「関妃」と言われてきた肖像写真は、実は別人である可能性がきわめて高い、という刺激的な論考をはじめ、雑誌メディアや小説にあらわれている近代日本の朝鮮観について真摯な学問的良心をもって問い直す。明治以来の逆説に満ちた日朝関係の糸をときほぐす試み。

▶A6判・232頁／定価1,890円

ISBN4-7842-1161-6

青島の都市形成：1897-1945 市場経済の形成と展開

樂玉璽著

青島がドイツ・日本との間に持った経済関係や、その関係が築かれた歴史的要因、青島の経済発展の過程や特徴、さらに青島が全中国へ与えた影響を解明。日中両国の広範な資料を用いることにより、詳細かつ中立的・客観的な立場での考察を試みる。

▶A5判・364頁／定価7,140円

ISBN978-4-7842-1453-2

※日中戦争から世界戦争へ

永井和著

華北に利権を求める日本。イギリス・アメリカ・ソ連を相手にしてどのような対応をしたのか。日本が世界戦争への道を歩んでゆく姿を明らかにする一書。【内容】東アジア二〇世紀史の中の日本/日中戦争と日英対立/日中戦争と帝国議会/日中戦争と陸軍慰安所の創設 など

▶A5判・516頁／定価7,980円

ISBN978-4-7842-1334-4

※条約改正交渉史 1887～1894

大石一男著

1888(明治21)年黒田清隆内閣の大隈重信外相による条約改正交渉から1894(明治27)年伊藤博文内閣の陸奥宗光外相による日英通商航海条約締結までの時期について、以下の三つの視角—日本側の交渉戦略・交渉戦術、交渉相手の欧米列国の動向、日本国内における諸個人・諸集団の協力・対抗・競合の側面—から分析する。

▶A5判・356頁／定価6,825円

ISBN978-4-7842-1419-8

憲政常道と政党政治

小山俊樹著

近代日本二大政党制の構想と挫折

戦前日本において、二大政党制の導入に込められた理念とは何か。二大政党制をめざす政治家やメディアの戦略とは。そして政党政治の崩壊と二大政党制の関係は、どのようなものであったか。これらの視角から、「憲政の常道」と日本の政党政治をとらえなおす。

▶A5判・384頁／定価7,350円

ISBN978-4-7842-1662-8

明治期における不敬事件の研究

小股憲明著

明治政府の誕生以来、数多く発生しながら体系的な研究がされてこなかった不敬事件を、明治期について網羅。豊富な実例を整理・検討することによって明治国家の特質を考察し、天皇制と教育の関係、ひいては天皇制と近代日本および国民の関係を明らかにしようとする大著。資料編として、228事例と13参考事例の概要などを収載。

▶B5判・576頁／定価13,650円

ISBN978-4-7842-1501-0

生命論と霊性文化 佛教大学国際学術研究叢書1

第20回国際仏教文化学術会議実行委員会編 仏教への問い

【内容】死後生をめぐる霊性と仏教/生命の危機と仏教/生命・霊性の問題と仏教/韓国近代宗教の三教融合と生命・霊性/民俗宗教のスピリチュアリティ「陰陽師ブーム」と「いざなぎ流」の世界から—/圓仏教開教精神と生命秩序/生命と食—仏教食育論—

▶A5判・212頁／定価2,100円

ISBN978-4-7842-1449-5

朝鮮近現代史を歩く 京都からソウルへ

太田修著

佛教大学鷹陵文化叢書20

朝鮮半島とそれに繋がる人々における植民地支配と戦争の歴史がどのようなものか、現代の人々によってどのように記憶されているのか、また民衆がどのように生き何を思ったのか。その歴史と縁のある場所を訪れ風景やモノを見、人に出会い、史資料を読み、考えた中から生まれた成果。

▶A6判・256頁／定価1,995円

ISBN978-4-7842-1450-1

立憲国家中国への始動 明治憲政と近代中国

曾田三郎著

従来の単線・単純な辛亥革命史研究の枠組みを打開すべく、立憲国家中国の形成という観点から叙述する中国近代史。内閣制を中心とする行政制度の改革や、省制・省政の改革を軸に、大隈重信などの政治指導者や、有賀長雄のような伊藤系の法学者などの影響を具体的に把握することで、明治憲政の影響を動態としてとらえる。

▶A5判・400頁／定価8,400円

ISBN978-4-7842-1464-8

未知への模索 毛沢東時代の中国文学

吉田富夫著

佛教大学鷹陵文化叢書14

1949年10月の中華人民共和国誕生から文化大革命までの〈毛沢東時代〉の中国文学についてまとめた一書。毛沢東の中国の模索がひとまず挫折したことはいまや明らかだが、模索そのものの意義は、いつの日にか誰かによってあらためて見直されるはず、との信念のもと、毛沢東時代とは何であったのかを改めて問い直す。

▶A6判・290頁／定価2,415円

ISBN4-7842-1291-4

※日中戦争についての歴史的考察

明石岩雄著

日中戦争の全面化は、太平洋戦争への決定的転換点であった。またその結果は、日本の対中国政策の破綻であるとともに、中国市場の全面的開放と開放という、国際資本の試みの挫折といえる。本書は、日中戦争の原因について歴史学から考察する。

▶A5判・352頁／定価5,775円

ISBN978-4-7842-1347-4

近代日本の軍部と政治

永井和著

日本近代政治史の気鋭が「戦前の内閣」をとりあげ「人の内閣」というフィルターを通して内閣史に新たな光をあてる。

【内容】軍人と内閣 視角と定義/軍人首相内閣論/現役将校の官界進出 内閣官制と帷幄上奏 初期内閣と帷幄上奏勅令/内閣官制の制定と帷幄上奏 など

▶A5判・450頁／定価9,030円

ISBN4-7842-0770-8

近代日本の倫理思想 主従道徳と国家

高橋文博著

西村茂樹・福沢諭吉・阿部次郎・安倍能成・和辻哲郎ら近代日本の思想家や、修身教科書を取り上げて考察した論文を集成。前近代よりもち越され、主張され続けた主従道徳の存在に着目し、倫理思想における日本の近代と近代以後のもつ意味を考える一書。

▶A5判・332頁／定価5,775円

ISBN978-4-7842-1656-7

※東アジアと『半島空間』

千田稔・宇野隆夫編

山東半島と遼東半島

山東半島と遼東半島は、先史・古代あるいは中世頃までは中国文明の出口であったが、近代には列強諸国による近代文明の侵入口であった。半島は、そこを通過した文明の沈殿層が形成される空間といえる。古代・中世から近代におよぶ通時的・学際的・国際的な議論を通し、東アジア文明論に新視点を与える。

▶A5判・420頁／定価5,040円

ISBN4-7842-1117-9

仏教と平和

佛教大学国際学術研究叢書2

第21回国際仏教文化学術会議実行委員会編

2009年、韓国・圓光大学において開催された第21回国際仏教文化学術会議の基調講演ならびに研究発表を収録。グローバル化が進み、ボーダーレスとも称される混沌とした現代社会において、仏教思想を基盤に据えながら、改めて「平和」という大きな課題に向き合った、韓国と日本の研究者による多面的な議論の成果。

▶A5判・242頁／定価1,575円

ISBN978-4-7842-1599-7

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。